

津市の教育、学術及び文化の振興
に関する総合的な施策の大綱（案）
＜令和6年度～令和9年度＞

はじめに

本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「教育大綱」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、市長と教育委員会で構成する総合教育会議での協議を経て市長が定めるものとされており、これまでも教育大綱の策定にあたっては、総合教育会議の中で様々な協議を重ねて策定してきました。

また、本市では、学校現場や保護者の皆様との懇談会を毎年開催し、教育現場の声を直接お聴きして現状や課題を把握し、次年度以降の取組にどう生かしていくかについて、総合教育会議で議論しているところです。

このたび、現行の教育大綱の対象期間が最終年次を迎えることから、総合教育会議での議論、及び学校現場や保護者の声を踏まえ、新たな教育大綱を策定しました。

今回の教育大綱は、これまでの教育大綱の枠に捉われることなく、津市の教育に今、何が大切なのかについて着目し、まず、これからの津市の教育が「めざす姿」を書きました。「子どもたちが安心して過ごせる教育環境を整備していきたい」、「先生たちがやりがいをもって、笑顔で働ける学校にしていきたい」「地域とともに皆で子どもたちを育ていく体制を進めていきたい」など、津市の教育がこうあってほしい姿を志高く掲げたうえで、その実現に向けて何をすべきかを「取組」として記載しています。「めざす姿」に一步でも近づけるよう一生懸命努力していくことを、この教育大綱に書き上げました。

新しい教育大綱の対象期間は、令和6年度から令和9年度までの4年間です。時代の変化は、ものすごいスピードで進んでいます。新しい技術や情報が日々生まれ、社会も大きく変わっていく中で、これまでの教育も大事にしながら、教育をしっかりと進めなければなりません。そのためには、教育の充実と改革が不可欠です。そんな急激で予測困難な時代の変化とともに、教育的ニーズは今後もますます複雑化、多様化していきます。このような時代の中で、誰もが安心して学ぶことができ、すべての人の可能性を最大限に引き出していくことができる教育の実現に向けて、しっかりと取組を進めてまいります。

1 子どもたち一人一人に応じた教育の推進

【めざす姿】

津市の学校では、子どもが主人公である教育に取り組んでいます。

子どもたちは、一人一人が主体的な自己を発揮し、達成感を得たり、多様な人々と協働し、自分の可能性を伸ばしたりすることができる体験や経験を通して、複雑で予測困難な時代を生き抜いていくための、学びに向かう力や自己肯定感等を育てています。

取組

- 学校でのすべての教育活動における、子どもの主体的な学びの充実。
- 各教科、総合的な学習の時間、特別活動等における横断的な学習を通じた、E S D（持続可能な開発のための教育）の推進、及び発達段階に応じたキャリア教育の充実。
- 子どもたちが、子ども人権フォーラム等に、より主体的に取り組むとともに、ありのままの自分で安心して暮らせる学級づくり等の推進。
- 学校や学年の枠を越えて話し合う中学生リーダー研修会の充実、及び自分たちの考えを発信したり、具現化したりするなど、社会参画への意識の醸成。

【めざす姿】

津市の学校では、夢や希望をもち、子どもたちが安心して学べる魅力ある学校づくりを進めており、多様な学びの環境のもと、子どもたちが、あらゆる機会に、あらゆる場所において、一人一人のニーズに応じた学習を進めています。

取組

- 子どもたちの自主的・自発的な活動を大切にした、誰もが安心して学べる居場所となる魅力的な学校づくりの推進。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のより一層の推進。
- 不登校児童生徒や外国につながる児童生徒等への、一人一人の状況に応じた支援と、多様な教育機会の確保による、自立に向けた力の育成。
- 地域学習や出会い学習を通し、多様な人と協働することによる達成感や自己肯定感の生成。
- 教育支援センターを中心とした、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによるアウトリーチ型支援、及び校内教育支援センターの設置やタブレット端末等の活用など、不登校児童生徒とつながるための様々な取組の推進。

【めざす姿】

津市の学校では、個別最適な学びと協働的な学びを効果的に進めるため、これまで培ってきた実践とICTを効果的に組み合わせ、すべての子どもたちが可能性を伸ばし、デジタル社会で活躍できるよう取り組んでいます。

また、新しい時代の学びを支えることができる教育環境が整備され、子どもたちも、教職員も、自分の力を最大限に引き出して取り組んでいます。

取組

- 1人1台タブレット端末や大型テレビ等のICT機器を効果的に活用した、家庭学習の充実と授業づくりの推進。
- ICT機器等を活用した情報収集や適切な発信等、社会で求められている新たな価値を創り出す力の育成。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもたちが、集団の中で共に学ぶことができる力を身に付けるため、ICTを効果的に活用した授業の一層の充実。
- 校務のデジタル化や生成AIの活用、及び年間授業時間数の精選等を行うことで校務の効率化を図り、教員が子どもや保護者と向き合うための時間の確保。
- 教職員を対象とした研修会等の充実によるICT活用指導力の向上。
- ICT機器の故障等によるトラブルに対し、ICTサポーターを中心とした迅速な支援の継続。

【めざす姿】

津市の学校では、すべての子どもたちが、障がいの有無に関わらず、安心して学ぶことができるよう、誰もが個性や能力を発揮して、生き生きとした人生を送ることができる共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育の考えのもと、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行っています。

取組

- 共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システムを構築し、多様な学びの場における適切な指導と必要な支援の充実。
- すべての教員が、特別支援教育の視点を持った対応ができるようにするための指導力及び対応力の向上をめざした取組の充実。
- 小中学校等における「多様な学びの場」としての「通級による指導」のより一層の充実。
- 就学相談による「点」としての支援、学びの場の変更を含む就学後の継続的な「線」としての支援、さらに、家庭や関係機関と連携した「面」としての支援の実現。

2 教職員が元気で生き生きと、笑顔で働くことができる学校づくり

【めざす姿】

子どもたちは、安心して学び、自分の力をのびのびと発揮し、教職員も幸せややりがいを感じている、そんな子どもたちの笑顔あふれた津市の学校では、子どもだけでなく教職員一人一人のウェルビーイングも向上しています。

子どもたちの学びにとって最も大切な環境は「教職員」です。津市の学校では、教職員が子どもの成長に実感できる喜びを感じ、生き生きと子どもたちに向き合いながら、やりがいをもって働くことのできる環境が整っています。

取組

- 子どもたちの自己肯定感や幸福感など、ウェルビーイングの向上を図るため、一人一人の個性の伸長を図る教育活動、及び学ぶ楽しさやわかる喜びを実感できる授業づくりの推進。
- 業務負担の軽減し、子どもの生き生きとした成長に関わるなど、教職員自らのウェルビーイングの向上を図るため、ポジティブな発想と行動を積み重ねていくことの大切さを発信。
- 子どもたちに育みたい資質・能力の育成に向け、教科等の横断的な学びを充実し、地域資源を生かしながらカリキュラム・マネジメントを図ることで授業改善及び業務改善のより一層の推進。
- 教員でなければできない業務に集中できるよう、その他の業務を担う支援員等の増員に向けた取組。

【めざす姿】

教職員は、子どもたちの人生に影響を与える存在です。

教職員は、子どもたち一人一人の力を最大限に引き出し、主体的な学びを支える伴走者として、教職生涯を通じて学び続け、多様な教育課題に対応できる資質・能力の向上を図るとともに、教職の魅力積極的に発信しています。

取組

- 子どもや保護者との信頼関係が築ける学校体制の強化。
- 教職員が、子どもたちの多様性を受け止め、子どもたちの自己肯定感や幸福感を育むことにつながる日々の取組や研修内容等の充実。
- 教員養成を担う大学との連携、及び教員を目指す学生への教職の魅力ややりがいについて積極的に発信する場の創出。

3 子どもたちがより良い学校生活を送るための教育環境（施設等）の整備

【めざす姿】

津市の学校施設等では、安全・安心を確保しながら、適切にスピード感を持って、環境整備が進められ、新しい時代の多様な学びについても柔軟に対応しています。

これにより、子どもたちは、多くの時間を過ごす学校生活において、安心して学ぶことができています。

取組

- 学校施設の適切な維持管理のための長寿命化改修工事の実施と、それに併せたエレベーターの整備や車いす利用者用トイレの設置などのバリアフリー化への取組。
- 安定的かつ安全な学校給食の提供に支障をきたす恐れがある施設・設備に対する改修の実施。
- 安定的な供給や安全な食材利用を最優先にした学校給食の提供とともに、物価高騰等による給食費の値上げといった保護者負担にならない取組と、給食の質を落とさず提供できる取組の実施。

【めざす姿】

津市の放課後児童クラブは、地域の中で、それぞれのニーズに応じて、子どもの居場所としての役割を果たしており、子どもたちは安心して楽しく過ごすことができ、保護者も安心して働くことができています。

取組

- 子育て世代の保護者が安心して働くため、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごすことができる居場所の確保。
- 放課後児童クラブが未設置の小中学校区における、民間事業者との連携や放課後子供教室の運営を通じた居場所の確保。
- 狭あい化する公設民営の放課後児童クラブにおける、津市公共施設等総合管理計画に基づいた改修整備の推進。
- 保護者の負担軽減や放課後児童支援員等の確保、処遇改善等についての国・県との連携を含めた取組。

4 学校、家庭、地域がつながり、子どもたちを育んでいく体制づくり

【めざす姿】

津市の教育は、学校、家庭、地域等が、子どもたち一人一人の学びを支えていくという共通認識のもと、相互に連携・協働しながら、子どもたちを育む魅力ある学校づくりや、子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを推進しています。

子どもを支える大人が、子どもの生き生きとした成長に関わることを通じて、地域社会全体が自らの自己肯定感を高めることができるような関係づくりを築いています。

取組

- 地域全体で子どもたちの学びや育ちを支えるため、保護者や地域住民等が教育の当事者となって学校運営に参画する学校運営協議会の充実を図り、地域とともにある学校づくりの推進。
- 地域と学校をつなぐコーディネート機能を強化し、地域の特色や資源を生かした地域学校協働本部の体制を整え、学校と地域が連携・協働する取組の推進。
- 地域コーディネーターの設置、資質向上のための研修会等の実施、及び市民に向けた情報発信。

【めざす姿】

津市の学校では、子どもたちが、安全・安心に学ぶことができ、幸せに生きるために必要な資質・能力を身に付けるため、学校、家庭、地域、福祉等の関係機関が連携・協働し、それぞれの役割をしっかりと担っていける「チームとしての学校」の体制づくりが進んでいます。

取組

- 学校、家庭、地域が相互に協力し、心理や福祉等の専門家や、関係機関等と連携したチームとして学校を支援する体制の強化。
- 子どもを取り巻く人権問題や取り組むべき課題を共有し、一人一人の人権が尊重される地域づくりに取り組むための人権ネットワーク活動への支援。

【めざす姿】

津市の学校では、持続可能な部活動の運営体制を構築するとともに、休日の部活動の地域連携や地域移行に向けた環境整備が段階的に進められ、子どもたちはスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができます。

取組

- 国や県等の動向を踏まえつつ、津市部活動の在り方検討委員会において、部活動の運営体制等の検討を行うとともに、部活動改革の段階的な取組の推進。
- 教職員の負担を軽減しつつ、子どもたちにとって望ましい活動となるよう、部活動指導員や外部指導者等の地域の人材のより一層の活用。
- 「津市立中学校部活動指針」に則った、部活動の適切かつ効果的な運営。
- 効率的・効果的な部活動の指導力育成のための顧問等の研修会への積極的な参加の促進。

写真・イラストなど

5 これからの公立幼稚園が果たすべき役割

【めざす姿】

津市の公立幼稚園では、小規模であることを強みに変えて、子どもたち一人一人を丁寧に育み、特別な教育支援を必要とする子どもたち、外国につながる子どもたちなどへの配慮と丁寧な支援にも心がけるとともに、保護者の思いをしっかりと受け止めることで、多様化する保育ニーズにしっかりと応えるよう取り組んでいます。

取組

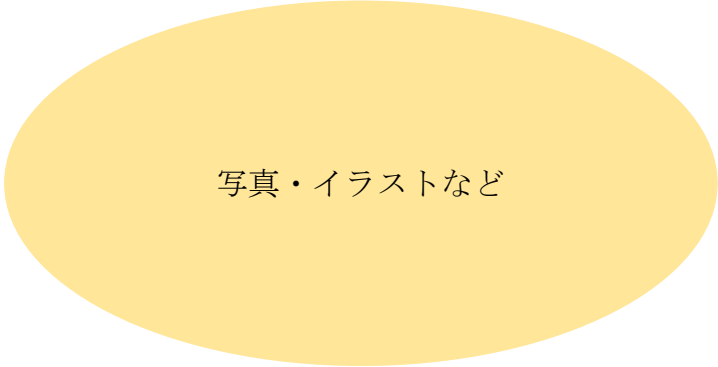
- 家庭や地域及び関係機関と連携を図り、ニーズに応じたきめ細やかな支援の充実。
- 教職員の専門性を高める研修体制の充実。
- 特別な教育支援を必要とする子どもたち、外国につながる子どもたちなど、一人一人に応じた支援のあり方を工夫した、子どもの可能性を伸ばす取組の推進。
- 地域資源を生かした体験活動を重視した取組。
- 家庭教育の充実に向けた子育て支援センターとしての役割の充実。
- 就学前日本語教室「つむぎ」の取組の拡充。

【めざす姿】

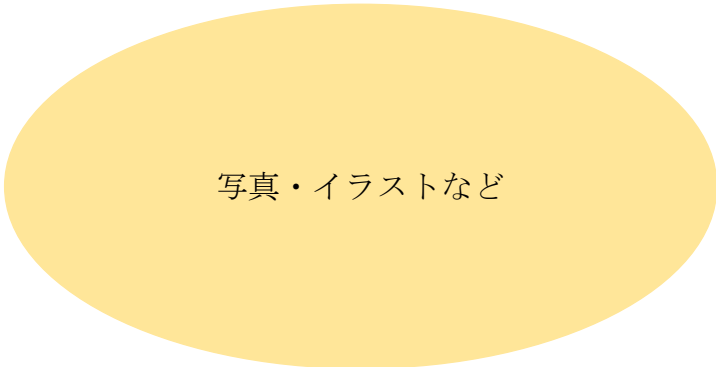
津市の公立幼稚園は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育成するため、地域の保育のリーダーとして、私立幼稚園、公私立保育所、認定こども園との連携を図り、幼児教育を小学校教育にしっかりとつなげる役割を果たし、幼児期からの一貫した教育の推進に努めています。

取組

- 津市架け橋期カリキュラムに基づき、教育課程の接続に向け協働した取組の推進。
- 公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の教職員での合同研修会等の実施、及び指導主事や架け橋サポーター、幼児教育アドバイザーによる公私立の幼稚園等への訪問支援等の充実。
- 子どもたちの非認知能力を育成するとともに、生涯にわたる人間形成の基礎が育まれる幼児教育の重要性等の積極的な発信。



写真・イラストなど



写真・イラストなど